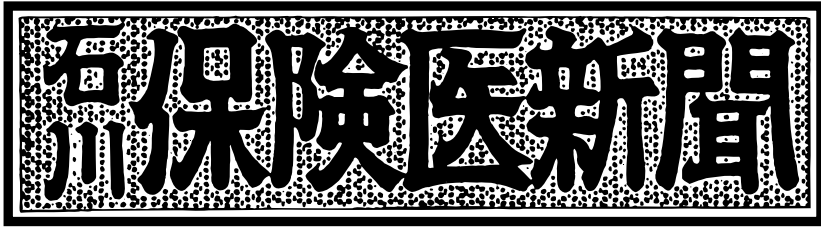


主な記事

2面 本紙、新年号コンクールに入賞
3面 介護保険で出前講座
4面 シリーズ介護保険(最終回)
5面 福祉を支える人たち—その2—
6面 (会員投稿)患者の権利、医者の義務
7面 韓国事情見て歩き—第10話—
8面 冬の食べ歩き会

今月の会員数/901人(医科650人・歯科251人)



発行所
石川県保険医協会
〒920-0902 金沢市尾張町1丁目9番11号
尾張町レジデンス2F
電話 (076) 222-5373 番
FAX (076) 231-5156 番
発行人 高松弘明
印刷所 ソノダ印刷株式会社
購読料 1年間5,000円(〒共)
(※本紙の購読料は会費に含まれます)

第3回隣接医学懇談会「呼吸器、消化器および肝臓」

医療を良くしたい、で一致

医科・歯科共通の願いが生んだ企画

二月十三日(土)午後六時〜八時半、金沢都ホテルで、第三回目の「隣接医学懇談会」が開かれた。医科から歯科へのアドバイスを目的に開かれているこの講座は、医科歯科一体の組織である保険医協会ならではの企画と好評で、四回シリーズで開催されている。今回は「呼吸器」については石川県済生会金沢病院内科の小川晴彦医師が、「消化器および肝臓」については小川晴彦医師の実兄でもある当協会の小川滋彦理事がそれぞれ講師を担当した。



小川滋彦理事 (金沢市・内科)

隣接医学懇談会も第三回。氏は自らの研究に基づき、この分類が十年後辺りに教目となり、二十六人の歯科。せき、たん、アトピー、好酸球の因子による分類を示す。まず、呼吸器疾患を担当。され、非常に明快で分かり易い解説をされました。消化器と肝臓の疾患は、小川滋彦先生です。消化器感染症として対処されるようになったこと、肝硬変では代償性と非代償性という捉え方が大切と力説されました。また、「問診と顔だけで分かる消化器疾患」は、ユニークで興味深い話題でした。

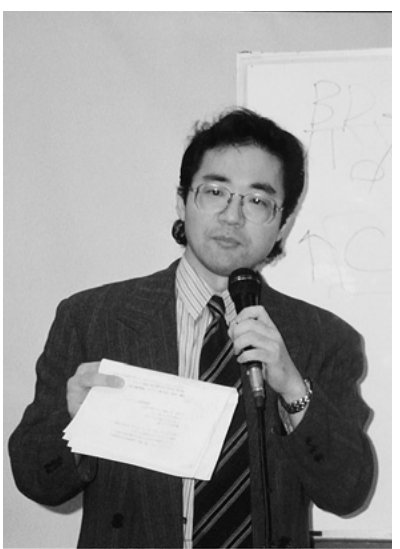
第25回定期総会を開催(3月6日) 九九九年度がスタート!

持論

石川県保険医協会は、今年で創立二十五周年を迎える。会員数は当初の百四人から今や九百人を超え、年間活動予算は一億円に届こうとしている。この間、協会運営の道のりは決して平坦ではなかった。幾度かの試練を乗り越えることができたのは、役員、事務局員の地道で真摯な努力はもろんであったが、全会員と協会外の個人や団体からの暖かい支援があったからこそである。

第25回定期総会開催にあたって 医科・歯科一体で 市民とともに

足元当初に比べると、協会の業務は飛躍的に増え、医療・福祉問題にはますます複雑多岐となり、活動範囲は広がるばかりである。しかるに近年、国政の基本であるべき社会保障制度は加速度的に悪化の一途をたどっている。こうして今や、長い年月にわたる健康は重大な危機に直面している。ひいては、医療機関の経営も悪化の一途をたどっている。この健康は重大な危機に直面している。ひいては、医療機関の経営も悪化の一途をたどっている。この健康は重大な危機に直面している。ひいては、医療機関の経営も悪化の一途をたどっている。



小川晴彦医師 (石川県済生会病院内科)

気を持った患者の歯科治療を、単に断片的に解説すると言うより、病状そのものをとうとうして患者さんが見えてくるように配慮していただいたような気がしました。お二人の講師ともに膨大なレジュメを用意され、この講演のために多くの時間をかけられたことが伺われました。保険医協会ならではの、損得を超えた、医療を良くしたいと願う人材の多さ、熱意の強さを今回も痛感させられた思いでした。

協会への連絡に E-mailをご活用ください。

- 協会あてE-mail ; ishikawa-hok@doc-net.or.jp
●編集部専用E-mail ; iskw_sugino@doc-net.or.jp

医心凡語

近ごろ、私は患者さんから「やさしくなった、怒らなくなった」と言われる。「年とって丸くなった」と答える。真実は「怒る」気力も失せただけなのだ。悲しすぎるから。

開業医の心得を大先輩から「一に居ること、二に笑顔、三、四がなくて五に技術」と教わったことがある。患者さんの健康と命を守る使命感が私を燃焼させていた。評判も経営も無縁だった。しかし、最近やたらに「医療経営」の字句を読み聞きする。まさかとは思いますが、経営優先の「ニセ笑顔」で患者さんに媚びる医療の横行なんぞご勘弁願いたい。政治・経済が混乱するとき、病める人、貧しき人、そして医療と福祉が第一の犠牲となることを歴史は教示している。また、医者が政治や軍事の先鋒として人種差別や殺りくに加担した事実も明白である。今、私は患者さんが貧困な医療行政の実状も知らされず、「財政難、高齢化、少子化」の錦の御旗に抑圧され、自らの健康、生命まで「腐敗した行政」の濁流に埋没させられてゆく現実を、医者の無力・無能さを痛感する。医者を選択した限り、「正当な医療・福祉」を探求し、患者の困難は共有したい。理想主義との批判覚悟で、医療経営を声高に論じること疑問あり!

本紙 新年号コンクールで 「取材・記事賞」を受賞

事務局 杉野 洋一郎



本紙新年号を使って説明する審査委員

第十七回理事会は、天候が急速に悪化する中、十一人の理事の出席で報告事項から始まった。一九九八年度決算では、事業費が当初予算より二百万円以上の増加執行であったにもかかわらず、事務費等の効率的運用により、次年度繰越金を二百六十万円上積みできるほどの健全財政であったことが報告された。一九九九年度予算案については、たつき台が提出されたが、事業費や備品購入面での一部修正の必要があり、次回再検討になった。

第17回理事会点描 総会を準備万全で 予算案もほぼ整う

(2月2日・11人出席)

歯科部からは、損保や材料購入など医業経営に関する提案がなされ、今後の研究課題として検討定に対して、現在のところ補充予定は三人(確定二人、濃厚一人)であり、理事総数は一人減の十七人となりそうだ。中でも心配されるのは、ここ二、三年弱体化している学術・保険部担当理事に就任する人材確保であり、該当者のない場合には、医療福祉部との共同活動にならざるを得ないようだ。

渉外事項では、高松会長が金沢市医師会新年会にはじめて来賓として招待されたことに関して、医療団体として無視できなくなった協会の立場を確認し、友好関係を築いていくためのシステム作りをしていくべきであるという結論に達した。

(西田 記)

本紙は、毎年行われる日本機関紙協会主催の新年号コンクールに、今年も応募しました。

今年はBコース(写植新聞)における特別賞として「取材記事賞」に入選しました。Bコースの百紙を超える応募紙の中で、今年も十位以内に位置づけられたということになります。これまで写真賞、企画賞などに毎年入選していますが、「取材記事賞」は初めてです。個別講評は三月中旬に送られる予定ですが、全体として、しっかりと取材を通じた紙面が構成されているという評価が得られています。

二月二十日(日)、東京芸術劇場において発表・表彰式が行われ、杉野が出席しました。

審査委員からの話題の中で、次の点が印象に残りました。

一面写真(夢工房)は、Bコースの審査委員全員が高く評価し、「写真賞」の候補になった。カラー写真としては少し暗くなり、ストロボの使い方に工夫の余地はあるが、テーマや施設との関わりが写真の質を高めている。ただ残念なのは、紙面全体を構成する高い技術・力量を持ちながら、ほかの写真が弱い。たとえば座談会の写真などは、少なくとも左右正面三通りのアングルで使用できるようにたくさん撮影し、レイアウト時に困らないようにすべき。

また、新年号で目を引く機関紙には、かならず「企画」が入っている。単に正月をテーマにしたものではなく、「地域」や「暮らし」「いのち」に関して、その団体が何を考え、どう取り組み、何を訴えたいか、そして展望が見えてくる企画が、読者の心をつかむなど。

なお、審査委員が最後に、本紙について「とにかく二十面という大作に圧倒させられ、それだけでも評価に値する」との言葉について、素直に喜ぶべきことなのか、皮肉だったのか・・・質問せずには帰ってきたことを後悔している次第です。

パソコン税制について

石川県保険医協会顧問税理士 中村 栄希

平成11年(1999年)4月1日から平成12年(2000年)3月31日の1年間に取得した「取得価格百万円未満」の一定の情報通信機器について、即時一括償却(必要経費または損金)を認めるといったもの。

概要は以下のとおり。

【適用対象者】

青色申告を提出している法人及び個人事業者

【適用時期】

平成11年(1999年)4月1日から平成12年(2000年)3月31日までの間に取得をし、かつ事業供用した場合に適用される。(改正措法45条の3①)

【適用範囲】

①電子計算機、②デジタル複写機、③メモリー送受信機能付き普通紙ファクシミリ、④デジタル構内交換設備、⑤デジタルボタン電話設備、⑥電子ファイリング設備、⑦マイクロファイル設備、⑧ICカード利用設備・・・となる見込み。

【100万円未満かどうかの判定】

一番適用が多いのは、①の電子計算機であろうが、パソコン本体とともに購入する付属装置をひっくるめた総額で判断する。ただし、付属装置を単独で購入した場合には、パソコン税制の適用はない。あくまでもパソコン本体とともに購入して適用対象となる。

【新品であること】

現在、国会に上程されている同制度の法律案に「大蔵省令で定める器具及び備品のうち、その製作の後、事業の用に供されたことのないもの」とあることから、パソコン本体だけでなく、付属装置についても新品でなければならない。また、「事業の用に供されていないもの」とあることから、個人的に所有していたパソコンを会社が買い上げる、といったケースも考えられるが、これについても大蔵省主税局は、「制度の対象にはならない」としている。

【4月以降の引き渡しがポイント】

基本的に減価償却資産は、引き渡したときに取得したとすることになっている。このため4月1日以前に売買契約したとしても、実際の引き渡し日が4月1日以降であり、事業の用に供していれば、制度の対象となる。

まさか!の病気やケガに
休業保障 共済 制度
会員相互の 扶助制度

4月1日より 募集
年1回の加入 チャンス

だから 安心、断然有利

【30日休業の場合】(40歳で加入)

加入回数	入院の場合	自宅の場合	1ヵ月掛金
8回	168万円	144万円	24,000円
5回	105万円	90万円	15,000円
3回	63万円	54万円	9,000円

給付
◎給付日数は最長630日
◎同一疾病の再発でも給付
◎75歳までの長期保障
◎6種類の豊富な給付
◎代診をおいても、自宅療養でも給付

掛金
◎加入時のまま75歳まで同じ

加入資格 **59歳までの健康な会員**

お問い合わせは協会まで ☎076(222)5373

各種女性団体 連絡協議会

活発な質疑応答で 制度の問題点次々と

事務局長 神田 順一

石川県各種女性団体連絡協議会(石野和子会長、十二団体加入略称・各女連)が二月八日、県女性センターで「介護保険制度学習会」を開き、四十人の出席がありました。

学習会では、保団連発行の小冊子「介護保険制度の概要と公的介護保障の確立に向けた運動のてびき」を

テキストに、現時点で明らかになっている事柄を加えて、①制度施行準備スケジュール、②介護保険について、③制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、④制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、⑤制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、⑥制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、⑦制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、⑧制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、⑨制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、⑩制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、⑪制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、⑫制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、⑬制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、⑭制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、⑮制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、⑯制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、⑰制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、⑱制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、⑲制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、⑳制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、㉑制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、㉒制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、㉓制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、㉔制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、㉕制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、㉖制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、㉗制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、㉘制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、㉙制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、㉚制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、㉛制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、㉜制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、㉝制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、㉞制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、㉟制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、㊱制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、㊲制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、㊳制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、㊴制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、㊵制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、㊶制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、㊷制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、㊸制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、㊹制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、㊺制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、㊻制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、㊼制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、㊽制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、㊾制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、㊿制度の問題点と自治体への改善要望の最新情報、



神田事務局長が講師を務めた各女連主催の介護保険学習会

協会から
出前講座

驚きました。

老人の社会的入院を「悪」と決めつけている風潮です。が、家に戻せばその家はたちまち崩壊してしまうという現実も無視できません。厳しい経済情勢の中、家族が働かなくては家計も学費も捻出できず、また自分自身の老後の保障となる年金のためには「今」勤めに出たいのが人情です。

在宅介護は家に居られる幸せより、介護する側の人間性をも奪ってゆくように思われます。

マンパワーを必要とすることを嫌ってドクターはどんどん無床診療所に切り替えてゆかれます。介護保険もキーワードはマンパワーかと思われま。

石野和子各女連会長 からの印象記

本日は各女連のためにご多忙中、ご講演にお越し頂き、まことに有難うございました。

介護保険は何と難しいのだらうというのが感想です。まだまだはつきりしない点、不安な点が多いのに

幸い、おだやかな天候であったことにほっとしておりました。

次々と問題続出の昨今です。貴重なお仕事に、今後ともご活躍のほど、お祈り申し上げます。本当にありがとうございました。

家族とくらしの会

学生、高校教諭、主婦らが集い 一層の情報提供が求められ

事務局 工藤 浩司

二月二十二日の午後七時から「家族とくらしの会」(代表:広岡立美氏)が主催する学習会が開催され、講師として高松会長が招かれました。テーマは「介護

校教諭、主婦等々幅の広い参加層で、また、それぞれが市民運動や社会福祉に関心のある方ばかりで、非常に熱気あふれる学習会となりました。

おすすめの1冊

第一線医療に役立つ 抗生物質治療ガイドライン

- 1999年2月10日発行
- A5判・310頁
- 全国保険医団体連合会発行
- 1冊2,800円

■お申し込みは…
石川県保険医協会まで、ファックス
または電話で
TEL: 076-222-5373
FAX: 076-231-5156
なお、協会幹旋価格は、2,300円です。

★推薦者 柳澤 深志 (城北病院内科)



実際の医療現場において、抗生物質ほど、その使用法に多様性のある薬品はないと思われる。発熱と咳・咽頭痛の患者に抗生物質を投与すべきかといったことでも、医師それぞれの経験に基づき使用が判断されることが多く、とかくすると、よ

また、日常あまり接しない感染症に対しては、使用経験の多いペニシリン系、セフェム系、あるいはニューキノロン系、アミノグルコシド系といった薬剤をとりあえず用いたり、さらには、より広範囲なスペクトラムを有する薬剤を使用しがち

燃料のご注文は保険医協会まで

保険医協会では、日本石油(三谷石油)およびエッソ(石川米油)の暖房用燃料、自動車用燃料(全国カード)を取り扱っています。

配達可能地域や価格については保険医協会まで、お問い合わせ下さい。



電話〇七六(二三)五三七三

質疑をする時間が十分取れなかったのは残念でした。が、介護保険が医療に与える影響については、参加者のほとんどが初耳であるとの反応を示されたのが驚きでした。指定を受けた療養型病床群の入院料や訪問看護料等在宅医療の費用が介護保険に移ることは、非常に大きな制度変更であるに

最後に、参加された皆さんから「保険医協会から市民向けに今日説明したような有益な情報をどんどん流して欲しい」との強い期待の声があり、今後の協力を約して学習会は終了しました。

シリーズ 介護保険

⑨ (最終回)

問題点の解決は市民と共に

オンブズマン制の発足も

石川県保険医協会会長 高松 弘明 (金沢市・内科)

ほぼ一年後に迫った介護保険新しい制度として出発する保険施行に向けて、これまで八回に分けて主な内容と問題点をシリーズ掲載してきました。今回で一応、区ものたまたま台として、切りとします。従来の制度より後退が危惧されるなど、ぞくぞく噴出してきている問題点をまとめ、今後の対応を考える手だてにしたいと考えます。

まず、介護保険を考えるにあたっては、従来の高齢者福祉事業の良い点を残しながら、むしろまったく新しい企画としてとらえるべきでしょう。そうでないと、これまでの制度との比較になると、いちいち、これまでの優劣が話題となり、社会保障制度とは本来こうあるべきだとの理念から、別のところでの論争になってしまうからです。どうせ、

新しい制度として出発するのですから、幸い細かいところは未定の部分が多いため、いま出されているのではないのでしょうか。そこで保険医協会の紙上座談会(今年一月)、医療・福祉問題研究会の介護保険プロジェクトチームによる「介護保険への提言」(今年二月)なども参考に、介護保険の問題点をまとめてみました。

【保険料】自治体間不平等、滞納者への厳しい制裁規定、収納率の低下などによる将来の大幅引き上げの危険。
【利用者負担】所得に関係なしの定率一割負担と将来の増額、負担能力減退による減免措置の極めて狭い限定、現在の福祉サービス利用者の負担増(現在のホームヘルプサービスの八三パーセントが無料から有料へ)、低年金者への無配慮、上出し・横出し負担、施設入居者内の差別。
【調査票】調査員の人数不足や資質、調査項目の内容特に痴呆の判定、日々変動する高齢者の心身状況把握の困難、家族・介護人・家庭環境項目の不備、摂食・嚥下障害にかかわる項目、とくに歯科項目の不備。



さまざまな問題点があぶり出された座談会 (本紙新年号特別企画)

囲碁解答

1の目持ちが好手でコウになりませう。

(問題は8面にあります)

会員特別寄稿

命の旅⑦

縄文時代(5)

破壊の文化

希望 (ペンネーム)

世界から、ここ二十年。一つは農耕文明が日の中に数十%の原生林が本に移入された時期が、消えたと言われる。東南アジア、南米を中心とする開発は、多くの自然破壊を生んでいることは周知の事実である。しかし、この自然破壊は、現代文明が初めて生み出したものと考えられるのは大きな誤りである。

紀元前八千年ごろに起こったと言われる農耕牧畜文明は、それまでの狩猟採取文明に比べ、飛躍的な生産力とその結果としての富をもたらし、その一方で、大量の自然破壊が同時にたらされたのである。木々の伐採、降雨による洪水、そして砂漠化、こうしてオリエントで多くの都市が減ったのであったのである。この都市の滅亡はNHKテレビでも放送されたのでご覧になった方もおられるかもしれない。

日本では幸いなことに、こうした壊滅的自然破壊は起こらなかった。梅原猛氏は「日本冒険」という著書の中でその理由を二つ述べておられ

話が前後するが、梅原氏は縄文はアイヌと琉球人に受け継がれたと考え、その身体に共通する特徴は古モンゴロイド、更に彼ら結びつけるキーワードとして「火」「鳥」「柱」をあげている。いずれも、神そのものであったり、神と人間をつなぐものとして、両者の間はないので、興味ある方は氏の著書を読んでいただきたい。

さて、この樹木崇拜が日本最古の祭り「諏訪の御柱祭り」へとつながり、そして、「柱」が真脇の謎であるウッドサークル、巨大木柱へのヒントとなる。

最後に、靖国神社に祀られている英霊(言い方の好き嫌いは別に)を「柱」として、二柱と数えるのをご存知だろうか。柱は神そのものなのである。

介護保険に関わる意見を寄せください。

保険医協会では今後介護保険への対応に積極的に取り組みます。読者からのご意見やご提案をお待ちします。

「ケア・マネジャー」身分、報酬、膨大・複雑な役割の未決定、ヘルパーなどの他の職種との連携。
【マンパワー】ヘルパー・多職種支援者の絶対的不足と賃金の未設定。
【医療との関係】介護保険と医療保険の輻輳、境界領域と相互移行の不明。二〇〇〇年スタート時の在宅サービス達成見込みがわずかに四〇パーセントという不可解さ。
【営利企業の参入】不採算部門からの撤退やサービスに積極的に活動しなければなりません。

以上、主な問題点をざっと拾い上げました。かなり量になります。いずれも介護保険の根幹にかかわる内容ばかりです。つまり一九九九年三月の段階では、肝心のことは発表されていなく、決まっていないうこととがいくかに多いかという点とでしよう。

しかし、法律的には二〇〇〇年四月からの施行は決まっています。今のうちに内容変更や追加項目を国、自治体に大声を挙げて要求、問題提起しないと、結局は国民がバカをみることとなります。

「保険あって介護なし」にならないように、市民レベルで広い意味でのオンブズマン制を早急に発足させる必要が出てきたためです。保険医協会は、その一翼を担うために、今後、積極的に活動しなければなりません。

日本では幸いなことに、こうした壊滅的自然破壊は起こらなかった。梅原猛氏は「日本冒険」という著書の中でその理由を二つ述べておられ



福祉を支える人たち

その2

社会福祉法人 石川県聴覚障害者協会

ろうあ者の生きる権利を守り 社会的不利をとり除くため

石川県聴覚障害者センター

施設長 北野 雅子

●連絡先●

社会福祉法人
石川県聴覚障害者協会
石川県金沢市本多町3-1-10
石川県社会福祉会館内
TEL (076) 264-8615
FAX (076) 261-3021

(社福)石川県聴覚障害者協会とは

一九九七年十一月二十日、全国十七番目の聴覚障害者情報提供施設である「石川県聴覚障害者センター」が開設されました。前身である「(有)石川県聴覚言語障害者福祉協会」が「社会福祉法人石川県聴覚障害者福祉協会」として生まれ変わり運営しています。

ろうあ者と手話

この「(株)石川県聴覚言語障害者福祉協会」の活動の功績によるもので、これなくして現在の石川県の聴覚障害者福祉はなかったのでは

ないかと思えます。聴覚障害者の仲間、ろうあ者と「手話コミュニケーション」を通して社会的な聴覚障害について話し

たいと思います。「手話」は、ろうあ者の主体性の象徴であり、ろうあ者の自己実現のための中心的な言語であり、人間として生きるための必要不可欠な「ことば」であります。



手話はろうあ者の主体性の象徴

コミュニケーションと情報アクセスの環境整備

障害は、それをとりまく環境によって障害そのものを重くもすれば軽くもします。十分な環境整備があれば、ろうあ者の能力が発揮できます。この環境に関しては、建物・機械設備などの「物理的環境」と一般の理解を得る「人的環境」とに分けることができ、聴覚障害者の環境整備とは、とりもなおさず「コミュニケーションと情報アクセスの保障」です。危険報知などは、字幕、振動、光などの設備で代替が可能ですが、会話コミュニケーションとなると手話通訳などを要します。これを生活全般

社会の中で連携を

最近では、コミュニケーション・情報事業が福祉の分野を越え、文化・教育・医療などのすべての分野に必要とされ、手話通訳士試験実施やNHKの手話講座、手話ニュースなどが社会事業として位置づけられています。当センターにおいても、生活の中で必要最低限として、医療・労働・教育などに公的手話通訳派遣制度が少しずつ整備されつつあり、専門の手話通訳

者の派遣や字幕付きビデオの貸し出し、聴覚障害者の福祉機器の貸し出しなどを行っています。まだまだ不十分ながら、医療機関、教育機関、労働関係、福祉関係、石川県手話通訳士会・全国手話通訳者問題研究会石川支部・石川県手話サークル連絡協議会などの関係機関と連携を取り、ご指導・ご支援をいただきながら充実させていきたいと考えております。



テレビ、大型スクリーンでのビデオ鑑賞のほか各種会議や学習活動など、様々な利用ができる。(磁気ループ設置)

歯科学術講演会

カリオロジーの実践

—健康を守り育てる医療を実現するために—

- 講師 熊谷 崇氏 (山形県酒田市開業)
- とき 4月4日(日) 午前9時~午後3時
- ところ 金沢都ホテル 5階 兼六の間 (JR金沢駅正面、TEL076-261-2111)
- 対象 歯科医師、スタッフ、保健福祉関係者
- 参加費 会員=1,000円、会員スタッフ=1,000円、非会員=15,000円、非会員スタッフ=5,000円、保健福祉関係者=5,000円
- 申し込み 次のいずれかの方法でお早めにお申し込み下さい。
 - ① 別途申込書に必要事項を記入の上、FAX送信。
 - ② 必要事項を明記した電子メールを下のアドレス宛てに送信。
 - ③ 電話による申し込み。
 ※既に郵送していた申込書にて申し込み済みの方は、改めて申し込まれる必要はありません。

石川県保険医協会

〒920-0902
石川県金沢市尾張町1-9-11 尾張町レジデンス2階
電話:076(222)5373 Fax:076(231)5156
E-mail:ishikawa-hok@doc-net.or.jp

歯科学術講演会

歯科におけるヘルスカウンセリング

—患者の隠れたニーズを知る—

- ◆講師/筑波大学教授 宗像 恒次氏
- ◆とき/5月16日(日) 午前9時~午後1時
- ◆ところ/金沢都ホテル

*詳細については、別途案内書を送付します。

会員投稿

患者の権利、医者義務

虚空

一月のある日のこと。風邪や胃腸炎の患者さんで外来は大混雑していた。そのとき、内科外来が何やら騒々しい。看護婦が内科カルテをドッサと持ってきて「すみませんが外来で見てもらえないか」と言う。話を聞くと、初診の酒臭い男性が弁舌を振るっているらしい。

その男曰く「ほかの病院で肝機能が悪いので飲酒の制限を指示されたが、納得できない。説明をしてくれなかった。だから医者を変えてきた」「GOTとは何の略語か?日本語で何というのか?」「酒を飲むとなぜ肝臓が悪いのか?GOTやアルコールの関係を納得よく説明してほしい」

「医者はカルテを患者に公開する義務がある」「医者は患者が納得するまで分かりやすく説明する義務がある」

その男性は、その後、未だ受診していない。

乳幼児医療費助成制度

最近の新聞報道によると、県内自治体で本年四月以降に乳幼児医療費助成制度の改善が相次いで行われている。

輪島市ではこれまでゼロ歳児は入院・通院とも、一歳から三歳児までは入院医療費を助成していたが、四月以降は入院医療費助成一歳引き上げて四歳児までを対象とする。入院医療費助成を四歳児まで引き上げたのは県内八市では初めての試みである。

内灘町では通院医療費助成を二歳児から三歳児までに、入院医療費助成を三歳児から四歳児までにそれぞれ一歳引き上げる。鳥屋町では入院・通院と

県内各自治体で改善の動き

事務局長 神田 順一

全国の自治体では、助成対象年齢を就学前まで拡大する動きが強まっているが、これでは県内自治体で五歳児まで入院・通院とも助成対象にしているのは川北町、志賀町、鳥屋町となり、五歳児までの入院を助成対象にしているのは寺井町、辰口町である。

いずれも県単独事業に乗せられたもので、就学前の対象拡大と現物給付化など県の乳幼児医療費助成制度の抜本的な改善と国による乳幼児医療費助成制度の創設が求められている。

保険医協会では、県内各自治体の予算編成時に制度改善を要望していきたい。

同様な事例は多い。大学病院に通院しているが「検査結果を詳しく説明してほしい」との理由だけで当院を受診する人もいる。患者さんだけでなく、開業医も十分に説明したいのだ。

それならば、患者さんに対する十分な説明が診療報酬の中でキチンと評価されなければならぬ。患者も保険診療の規則を厳守しなければならぬ。「月初めには保険証の提示」「孫のうがい薬を欲しいという老人」「子どもが捻挫したので湿布剤を自己のカルテで処方するよう望む社保本人」「診察中でも平気で始める携帯電話」・・・悲しい!

診療録の開示をはじめとし、現在の医療行政や医療法は「患者の権利」のみをうたい、医療人には責任だけを押しつける。医療人には義務だけで、自らの身を守る術がない。盾も矛もない。医者を身勝手な悪人に仕立てる。それが医療行政の「真の目的」なのかも知れないが・・・。

患者の権利を主張し、医者の義務を要求して外来を長時間混乱させる酒臭い男は、明日、あなたの診療所に現れるかも知れません(これはフィクションではありません)

本紙への投稿をお待ちします。

編集部では、読者からの投稿を随時お待ちしております。保健・医療・福祉、あるいは趣味や地域での取り組みなど、内容は問いません。字数は六百字程度でお願いします。

また、会員が主催する文化行事(コンサートや個展など)を紙面に紹介させていただきます。編集サイクルの都合で掲載日までの掲載が間に合わない場合がありますので、事務局までお問い合わせ下さい。

(編集部)

第10回全国保険医写真展 作品募集

保団連では、写真が趣味の方々の交流の場として、今年も全国保険医写真展を開催します。毎回盛会なこの写真展も10回を数えるに至りました。「第10回全国保険医写真展」は、7月にJCIIビル内のクラブ25で開催します。JCIIビルは、プロのカメラマンも展示会を開催する設備の整った会場で、展示も経験豊富な専門の方が行います。ふるってご応募ください。

□開催日時/1999年7月6日(火)~7月11日(日)

□開催会場/東京・JCIIフォトサロン・JCIIクラブ25

□展示企画

- テーマ自由。カラー、モノクロは問いません。
- プリントは半切のみ。余白、余黒はつけたまま。

□出展数/お一人1点のみ

□出展料/6,500円

□応募資格

保険医協会会員とその家族、従業員の方



第9回写真展会長賞受賞作品

□締め切り/5月24日(月)

□作品送付先/全国保険医団体連合会・文化部

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-5-5 新宿農協会館

□お問い合わせ・お申し込み/保険医協会076(222)5373まで

4月と7月、老人の窓口負担金が変わります。

窓口一部負担金の変更(4月)

4月1日から老人保健の窓口一部負担金が外来は30円、入院は100円引き上げられます。

外来	500円	→	530円
入院	1,100円	→	1,200円

外来薬剤一部負担の解消(7月)

7月1日からは、97年9月の健保法等改定で導入された「外来の薬剤一部負担」が老人に限り解消されます。ただしこの措置は従来患者(老人)が医療機関に支払っていた薬剤一部負担を国が肩代わりする制度で、医療機関における請求事務上は従来通り「薬剤一部負担額」の計算が必要となります。本来この制度は一旦老人患者が医療機関に支払った薬剤一部負担額を国が老人患者に「支給金」の名称で支払う制度です。しかし今回の措置では「受領委任払い」の方式がとられ、医療機関が患者に代わって国から「支給金」を受け取ることで、患者には事実上現物給付の形となります。

「ものづくり基本法」 全党賛成で成立へ

「ものづくり基本技術振興基本法案」は、ゼンキン連合の提起をうけて議員立法として国会に提出され、超党派の議員が賛同、自民党から日本共産党まで全政

党の賛成で成立する見込みとなっています。法案は十八条からなり、基本的施策ではものづくり基本技術に関する研究開発や労働者の確保と活用、中小企業の育成、学校の技術教育の充実、産業集積の推進など、国や自治体の役割についても定めています。

「社会見学」の小学生が工場に来たが、引率の先生は、勉強しないとこういう仕事をする

「社会的评价」という場合、学校教育のありようも無視できません。これではいけないと、技能の伝承や「ものづくり」への社会的評価を高めることを目的とする「ものづくり基本技術振興基本法案」が国会に出され、大詰めを迎えています。

製造業の「ものづくり」を支えている熟練技能者がこのままでは、遠からず職場からいなくなり、技能者の高齢化や企業の海外移転、中小企業の経営困難などがその理由です。

「ものづくり基本法」に魂を 親や教師の意識改革も必要

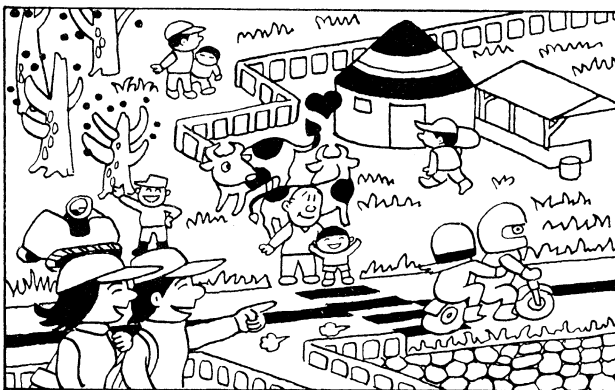
「ものづくり」を見直すこと。法律に魂を入れるのは大人の責任です。

「ものづくり」の面白さが体験できない子どもたち。加えて、製造現場の仕事が一段低いものとみなされている現状。ここから変えていく必要がありそうです。

「小学校の『図画工作』はお絵描きばかり。高校には『家庭科』しかない。男に料理を作らせても、女に技術を教えるようとしていないのは問題だ。」



「くらしの風景」7のまちがい



(答え: 4面)



食事中は左手は使わないで膝の上に置いたままである。ほとんどはスプーンを使うが、おかずを取って食べる時だけ箸を使う。時々、右手にスプーンと箸を同時に持って器用に使い分ける人も見かけるが異様である。



有川功ドクターの 韓国訪問記 (24回シリーズ)

韓国事情見て歩き-第10話- 韓国紳士淑女の 食事マナー

一九九〇年五月に印基栄医師が金龍柱先生の紹介で初めて私の病院を訪問された。初めて来日される戦後生まれの韓国の先生方は皆そうであるが、彼も初対面の時は非常に緊張して敵の陣地に乗り込んでくるような雰囲気であった。

印基栄先生は初めは軍人のような力チカチカした所作で対応された。到着した日、私は彼を片町裏の日本料理屋に案内した。私の正面に印基栄先生、私の右側に老妻、左側にスザナ・マニチ先生が座った。まず、日本酒で乾杯と言ったことになったが、印基栄先生は突然に右側を向いてマニチ先生の左肩に顔をくっつけんばかりの姿勢で杯の一杯を飲み干した。マニチ先生が驚いて右側に飛びのいたのはもちろんであるが、私もポカンと見とれてしまった。その後の杯の交換もすべて同じ所作で繰り返したので、私はようやく韓国における年長者に対するマナーであることが悟った。



建物という建物にはベタと大きめのハングル文字が埋め尽くされている。それも控えめと言う感じは全くない。このハングルの洪水の中でシクタンを見分けないと、現地的な食事をするのも一苦労である。

その後、食事を進めるにつれて、食事の仕方にかんがりの異様が目立ち始めた。食事中は左手を飯台の下に置いて絶対に使用しないこと、茶碗類を飯台から持ち上げないこと、顔を飯台に乗り出して口を茶碗の上に乗りにまで接近し過ぎることなど、われわれの感覚で言うと、少し行儀が悪いのではないかとこの所作が多かった。今ならすくに疑問を解くために聞くのであるが、その時は初めての食事であったし、韓国人に慣れていないこともあり、変だなと思いつつ食事を進めた。

一九九一年五月、次女の佳代を伴って釜山に出かけた。釜山のホテルに到着するや、安養(アニヤン)市民病院の彼に電話をする、翌日ソウルから飛行機で金海空港に飛んできた。私たちは金海空港で彼を出迎えた。そして、彼に釜山を案内してもらい、夕方は海雲台(ハウンデ)の奥のタジマチプへ招待していた。タジマチプは韓国式料理で有名な店であるが、名に恥じず、すべての料理がおいしかった。特に火照った体にはムル(水)キムチが美味しかった。ムルキムチを二ダ。

石川県医事文化史跡めぐり

〈47〉

高橋順太郎博士

—東大薬理初代教授・石川県出身—

多留 淳文 (日本医史学会評議員 金沢市・内科)



高橋順太郎教授

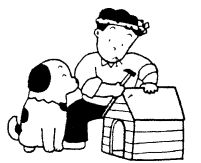
加賀藩は外様第一の雄藩と言われただけであつて、維新後も優秀な人物を多数輩出している。東京大学医学部の初代薬理学教授となつた高橋順一郎博士(一八五六一一九二〇)も、その一人である。

加賀藩御算用場に出仕した。

そのシエパードに面影が似ていたために、懐かしさの余り、犬を飼うことになつてしまった。名前は「コロ」。コロはハンサムである。気立て?もよい。散歩に行つても他の犬と吠えあうことはまずない。「キーン、キーン」と仲よし合図を送つていながら、大抵の場合、相手に吠えられるのがオチである。顔の方はよく似ているのに、肝心の頭の方は前の愛犬とは全く似ていない。散歩して「コロ」と呼ぶと、こちらを見た途端に、足を踏み外して溝に落ちるのである。慌てて紐を引いて、助けてやる。「ふー」こいつに助けられることは金輪際ないだろ

うな。一月二十七日は私の誕生日である。妻がプレゼントにMac (パソコン) を買ってくれた。ご機嫌さんで、今日も夜のお散歩に出かけた。無論、犬も一緒である。最近、ちよつとお利口さんになつたコロは、手綱を離してやつても、呼ぶとちゃんと帰ってくる。その日も人っ子一人いない夜のたんぼで彼を十分ほどフリーにしてあげたのだが・・・。「コロ」と呼ぶと冬枯れの草をかき分けて彼が帰つて来る。「ガサガサ」。うん何か異様に臭い。これは「ウン〇」の臭いだ。暗くてよく分からない。とにかく家に帰ろう。

大平 政樹 (金沢市・外科)



誕生日の贈り物

「ママ、ただいま」「おかえりなさい。あらくさい。」
そして、次にママの叫び。「何、これ!」
ついに臭さの元が分かつた。彼の首輪の周りに例のものか塊となつて付着していたのだつた。
それから夜の十一時まで、夫婦でかわいい愛犬?のウン〇洗いが続いたのである。これが彼の飼い主に対する初めての誕生日プレゼントであつた。

編集部から

この「コロ」について、もつと楽しい話題がいろいろ紹介されているのが大平先生のホームページ「ドクターコロの診察室」。インターネットにアクセス可能な読者は、ぜひ一度のぞいてください。
<http://www1.docnet.or.jp/~MASAKI/>

明治二年(十四歳) 豊島 翠年、帝国大学教授に就任し、明治二十四年に医学博士の学位を授与され、薬物学講座を担当した。研究業績は、内科の薬麻黄の主成分エフェドリンの瞳孔散大作用実験(二八八八) および猪子吉人助教授と行った漢薬商陸の有毒成分フィトラツコトキシの実験、また、漢薬瓜帯の科学的研究などがある。

明治十四年(二十五歳) 東大医学部を卒業。東大御用掛として医院外科当直医となつたが、明治十五年、薬物学などの研究のためドイツに留学。明治十八年(二十九歳) 帰国し、東大医学部講師となり、薬物学教室を創設した。

明治二十年(三十一歳) 大正元年(十歳) 兵衛。慶応元年(十歳) 大蓮寺。以上、『先祖由来帳』(金沢市立玉川図書館所蔵)による。

明治十四年(二十五歳) 東大医学部を卒業。東大御用掛として医院外科当直医となつたが、明治十五年、薬物学などの研究のためドイツに留学。明治十八年(二十九歳) 帰国し、東大医学部講師となり、薬物学教室を創設した。

明治二十年(三十一歳) 大正元年(十歳) 兵衛。慶応元年(十歳) 大蓮寺。以上、『先祖由来帳』(金沢市立玉川図書館所蔵)による。

明治十四年(二十五歳) 東大医学部を卒業。東大御用掛として医院外科当直医となつたが、明治十五年、薬物学などの研究のためドイツに留学。明治十八年(二十九歳) 帰国し、東大医学部講師となり、薬物学教室を創設した。



あ〜、生きてて良かった...

大平 三四郎(金沢市・歯科)

二月九日、冬の食べ歩きのお話にうんちくを傾けられ、村田先生のお骨折れ、歩く煩惱」と異名により金石の「宝生寿し」をとる小生には興味津々で開かれました。

今回は「カニを賞味する」に入った次第でした。

今回は「カニを賞味する」という企画。内心、カニが特に好きではない私にとつて、あまり有り難くない企画だと思いつつも、とにかく食べてみたいと始まり、カニのしゃぶしゃぶも絶品で、カニの足を熱湯にとつて出かけたのでした。

途中、兄夫婦と合流して宝生寿しに向かつたのですが、なにせ三人とも方向音痴。道を間違え、途中の雑貨屋のおばさんに道を教えていただき、やつとの思いで到着。すでに私たち以外の出席者の方々は座席に着いておられ、冷や汗もので私たちも席に着きました。

さて肝心の料理は、やはりカニのフルコース。出るわ、出るわ・・・カニの足、内臓、酢の物、カニ味噌・・・と、七尾育ちの私でも、こんなうまいカニをたらふく食べたのは初めてで、感激してしまいました。

隣の高松会長も上機嫌で、先生の学生時代の思い出、とくに京都の祇園、名古屋の中村、そして金沢の石坂など、知る人ぞ知る?某所

冬の食べ歩き会

●カニのフルコース

宝生寿し
金沢市大野町4の71
076(267)0323

■出題者
七段 向井富治(金沢市内科)

黒番でどうなりますか。

(解答は4面にあります)